

平成 23 年 3 月 13 日 (日) 実施

第 30 回 建設業経理事務士検定試験 4 級 解説

〔第 1 問〕

- | | | |
|-----|---------------------------|--------------------|
| (1) | (借) 現金 (資産) の増加 | (貸) 資本金 (純資産) の増加 |
| | 事業の開始→資本金 | |
| (2) | (借) 事務用消耗品 (費用) の発生 | (貸) 現金 (資産) の減少 |
| (3) | (借) 材料費 (費用) の発生 | (貸) 当座預金 (資産) の減少 |
| | 小切手の振り出しは当座預金を減少させる処理をする。 | |
| (4) | (借) 経費 (費用) の発生 | (貸) 現金 (資産) の減少 |
| | 現場事務所の賃料は経費として処理する。 | |
| (5) | (借) 当座預金 (資産) の増加 | (貸) 完成工事高 (収益) の発生 |
| (6) | (借) 借入金 (負債) の減少 | (貸) 当座預金 (資産) の減少 |
| | 支払利息 (費用) の発生 | |

〔第 2 問〕

問 1

- 簿記上、現金勘定で処理されるもの…通貨、他人振出の小切手、郵便為替証書 他
- 貸借対照表…損益勘定の記録に基づいて作成
損益計算書…繰越試算表を資料として作成

問 2 各勘定の分類は以下のとおりとなる

貸借対照表

A.資産	B.負債
普通預金	借入金
建物	C.純資産
備品	資本金

損益計算書

F.工事原価	D.収益
材料費	完成工事高
外注費	受取利息
E.費用	
支払利息	

〔第 3 問〕

21 日	(借) 経	費	36,000	(貸) 現	金	36,000
"	(借) 現	金	400,000	(貸) 完	成 工 事 高	400,000
24 日	(借) 支	払 利 息	6,000	(貸) 当	座 預 金	6,000
"	(借) 通	信 費	25,000	(貸) 当	座 預 金	25,000
26 日	(借) 給	料	145,000	(貸) 現	金	145,000
27 日	(借) 労	務 費	155,000	(貸) 現	金	155,000
30 日	(借) 支	払 家 賃	50,000	(貸) 当	座 預 金	50,000

※21日の「諸口」は1月20日までの諸取引を表します。

現 金		完 成 工 事 高	
21 諸 口	256,000	21 諸 口	142,000
" 完成工事高	400,000	" 経 費	36,000
		26 給 料	145,000
		27 労 務 費	155,000
当 座 預 金		材 料 費	
21 諸 口	750,000	21 諸 口	44,000
		労 務 費	
21 諸 口	505,000	21 諸 口	37,000
		" 現 金	155,000
24 支 払 利 息	6,000		
" 通 信 費	25,000	外 注 費	
30 支 払 家 賃	50,000	21 諸 口	41,000
備 品			
21 諸 口	82,000	経 費	
		21 諸 口	25,000
土 地		" 現 金	36,000
21 諸 口	190,000		
借 入 金		給 料	
21 諸 口	230,000	21 諸 口	28,000
		26 現 金	145,000
資 本 金		通 信 費	
		21 諸 口	6,000
		24 当 座 預 金	25,000
		21 諸 口	10,000
		支 払 家 賃	
		21 諸 口	25,000
		" 当 座 預 金	50,000
		支 払 利 息	
		21 諸 口	4,000
		" 当 座 預 金	6,000

〔第4問〕

当期末において工事はすべて完成し、引き渡し完了しているため、材料費・労務費・外注費・経費をすべて完成工事原価に振り替える。

(借) 完成工事原価	482,000	(貸) 材 料 費	180,000
		労 務 費	142,000
		外 注 費	95,000
		雑 費	65,000